

《最近の県内経済》 (2025年6月を中心として)

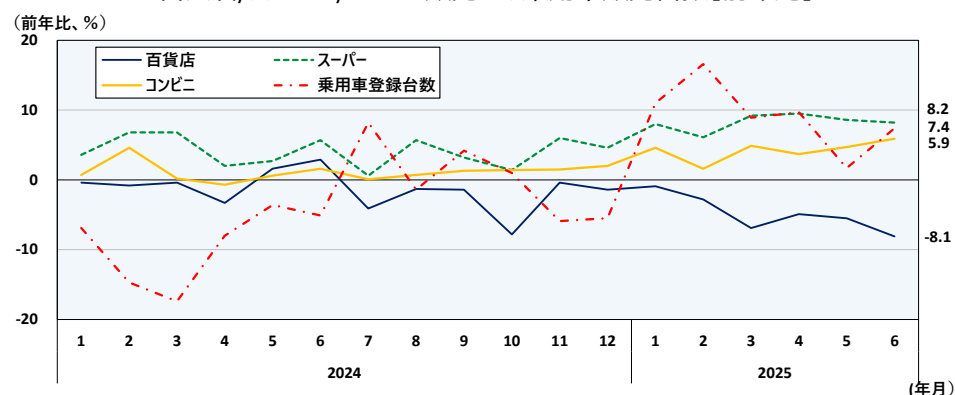
今月の概要

緩やかに持ち直している



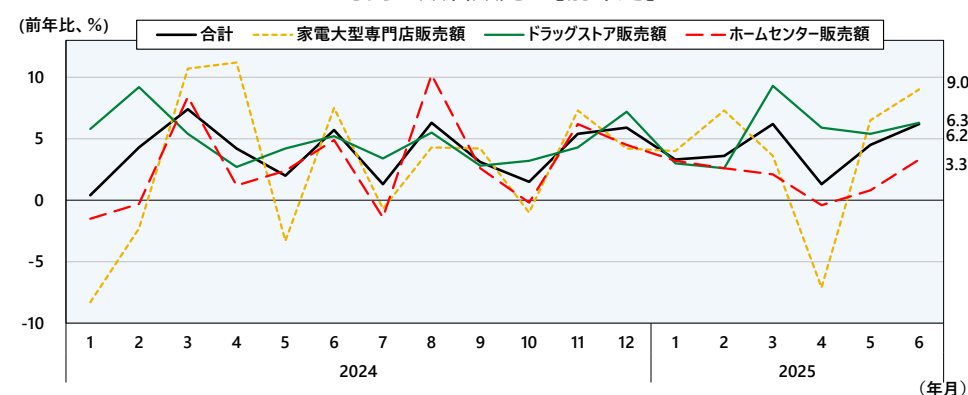
1 個人消費 ～緩やかに持ち直している →

百貨店/スーパー/コンビニ販売額、乗用車販売台数【前年比】



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など

専門量販店販売額【前年比】



(資料) 経済産業省

個人消費は、緩やかに持ち直している。

6月の百貨店およびスーパーの販売額（店舗調整前）は、百貨店は116億円で前年比8.1%減（12か月連続の減少）、スーパーは1,155億円で同8.2%増加（33か月連続の増加）した。また、コンビニ販売は601億円で同4.9%増加（14か月連続の増加）した。

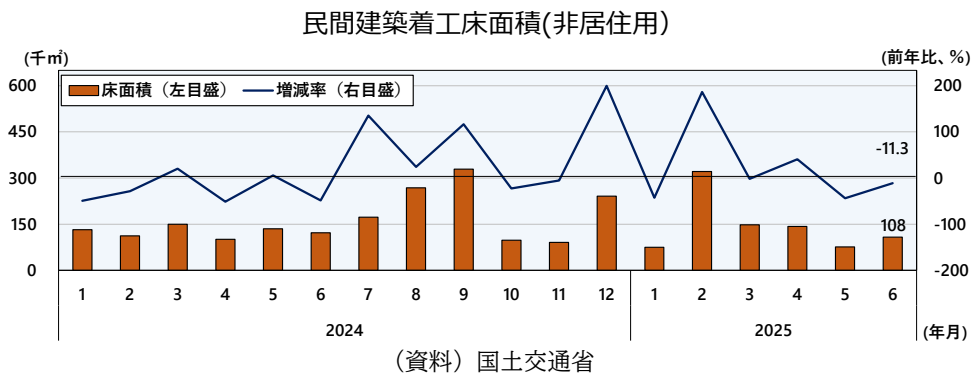
また、乗用車販売は、前年比7.4%増と6か月連続の増加となった。内訳をみると、普通車が同0.2%増（3か月ぶりの増加）、小型車が同10.1%増（6か月連続の増加）、軽自動車と同16.4%増（6か月連続の増加）となった。引き続き、前年の検査不正に起因する反動増となっている。

6月の専門量販店販売額は869億円で前年比6.2%増と33か月連続で増加した。内訳をみると家電大型専門店が208億円で同9.0%増（2か月連続の増加）、ドラッグストアが463億円で同6.3%増（37か月連続の増加）、ホームセンターが199億円で同3.3%増加（2か月連続の増加）した。

家電大型専門店では、エアコンが好調を維持しており、パソコンや携帯電話の買い替え需要も売上げに寄与している。ドラッグストアは、医薬品、食品等の売上が伸びており、ホームセンターでは、電気、カー用品・アウトドアなどが前年同月比増加した。

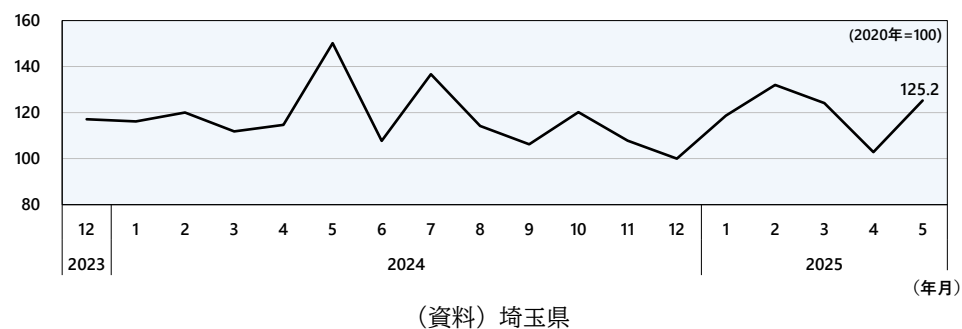
関東1都6県の消費者態度指数（原数値）は、5月〈33.6〉、6月〈35.3〉、7月〈34.9〉と推移している。

2 設備投資 ～持ち直している ➡



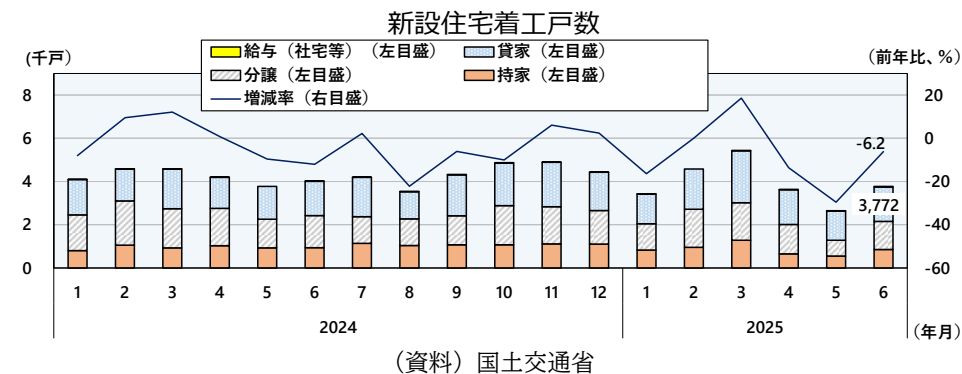
6月の民間建築着工床面積（非居住用）は、108千㎡で前年比11.3%減少した（5か月後方移動平均では、前年比28.2%増加）。用途別にみると、店舗、倉庫は増加したものの、事務所、工場及び作業場、学校の校舎、病院・診療所は減少した。

資本財出荷指数(季節調整済)



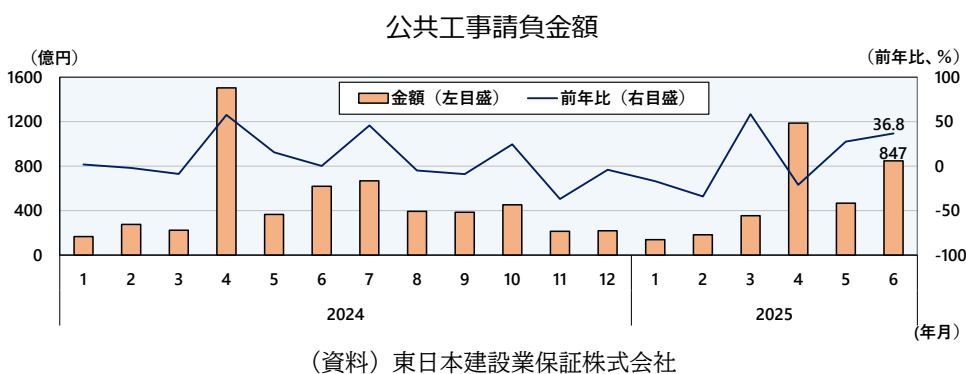
5月の資本財出荷指数（季節調整済）は125.2で、前月比21.8%増加した（5か月後方移動平均では、前年比1.6%減少）。

3 住宅建設 ～弱含んでいる ➡



6月の新設住宅着工戸数は、3,772戸で前年比6.2%減少した（5か月後方移動平均でも5.2%減）。利用関係別にみると、貸家（1,599戸）が同0.8%増、分譲一戸建て（981戸）が同1.7%増となったものの、持家（852戸）が同9.3%減、分譲マンション（295戸）が同41.6%減となった。

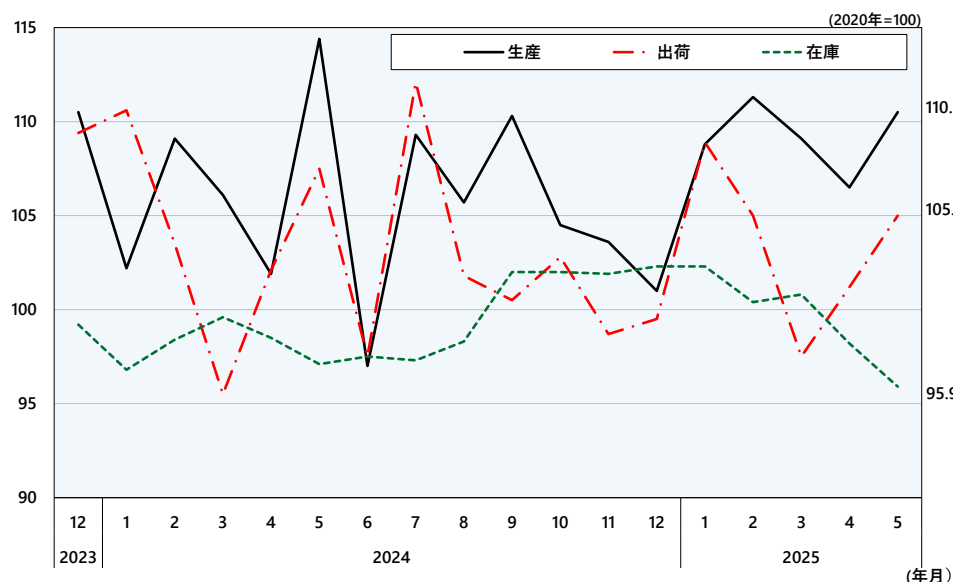
4 公共工事 ～底堅く推移している ➡



6月の公共工事請負額は847億円、前年比36.8%増加した。5か月後方移動平均でも前年比1.7%増で推移。発注者別の前年比をみると、国は減少したものの、独立行政法人等、都道府県、市区町村、地方公社は増加した。

5 生産活動 ～一進一退 ➡

鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済)



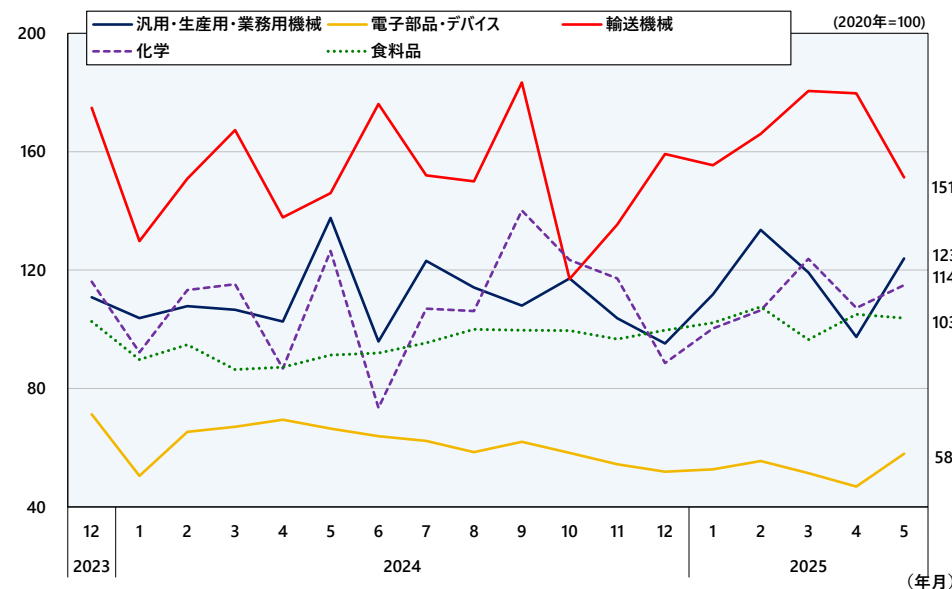
(資料) 埼玉県

5月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、110.5で前月比3.8%上昇(3か月ぶりの上昇)した。輸送機械(航空機用部品)、食料品(アイスクリーム、粉乳)などが低下したが、生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置、半導体製造装置)、化学(医薬品、印刷インキ)などが上昇した。

出荷指数(同)は、105.0で同3.8%上昇(2か月連続の上昇)した。情報通信機械(ガス警報器、交換機)、業務用機械(精密測定器、医療用機械器具)などが低下したが、生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置、半導体製造装置)、化学(医薬品、印刷インキ)などが上昇した。

在庫指数(同)は、95.9で同2.3%低下(2か月連続の低下)した。金属製品(スチール缶、飲料用アルミニウム缶)、食料品(精米、味噌)などが上昇したが、生産用機械(整地機械、マシニングセンタ)、電子部品・デバイス(混成集積回路、光電変換素子)などが低下した。

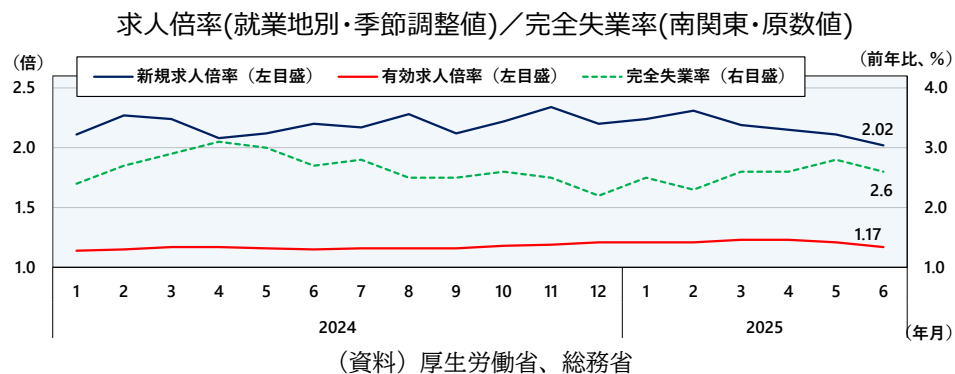
主要業種の生産指数(季節調整済)



(資料) 埼玉県

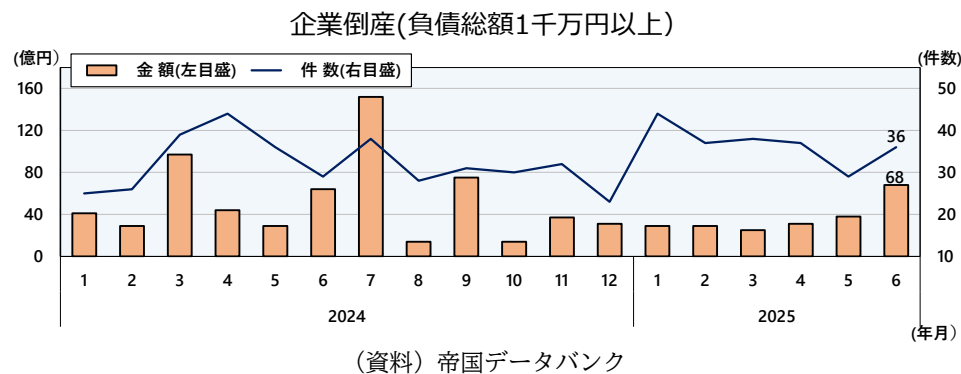
- ◆ 汎用・生産用・業務用機械の生産指数(季節調整済)は、123.9で前月比27.1%上昇し、3か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は、58.0で同23.7%上昇し、3か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 輸送機械(同)は、151.3で同15.8%低下し、3か月ぶりの低下となった。
- ◆ 化学(同)は、114.9で同7.2%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 食料品(同)は、103.8で同1.2%低下し、2か月ぶりの低下となった。

6 雇用情勢～緩やかに持ち直している ➡



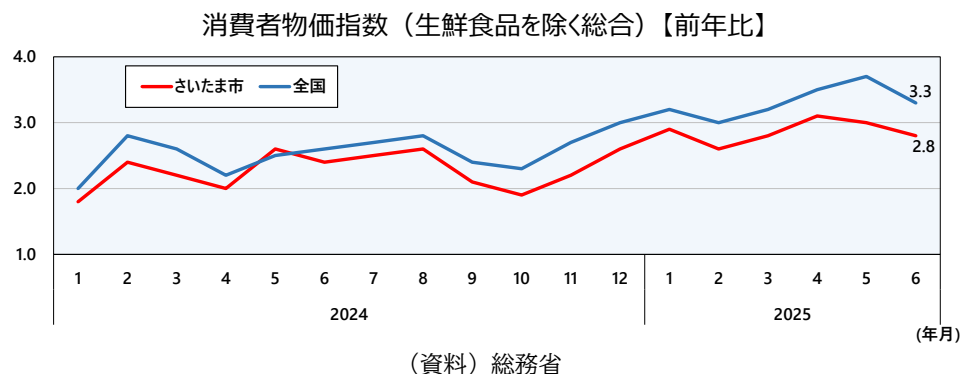
6月の有効求人倍率(就業地別、季節調整値)は、1.17倍で前月比0.04ポイント下落した。新規求人倍率(同)は、2.02倍で同比0.09ポイント下落した。
また、完全失業率(南関東、原数値)は、2.6%で前年同月比0.1%低下した(前年同月比5か月連続の低下)。

7 企業倒産～緩やかな増加基調にある ➡



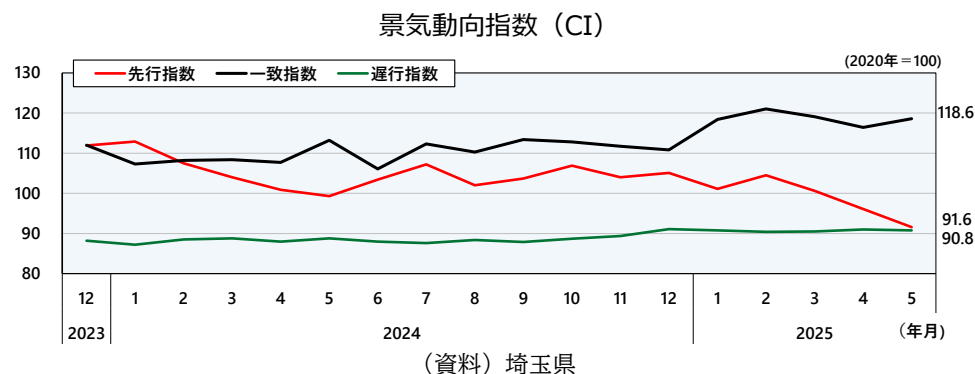
6月の企業倒産件数は36件で前年同月比7件増加した。また、負債総額は68億円で同比4億円増加した(5か月移動平均では、件数は前年比横ばい、負債総額は同14億円の減少)。
業種別にみると、建設業が最多で14件、次いで製造業、卸売業がそれぞれ6件、サービス業が4件となっている。主因別では、販売不振が31件となっている。

8 消費者物価～緩やかに上昇している ➡



6月の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は、110.0で前年同月比2.8%上昇した(45か月連続の前年同月比上昇)。
食料(穀類、肉類、菓子類)などが上昇し、全体を押し上げている。

〈参考〉景気動向指数(CI)～上方への局面変化を示している



- ・5月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、118.6で前月比2.2ポイント上昇し、3か月ぶりの上昇となった。
- ・CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、91.6で同4.5ポイント下降し、3か月連続の下降となった。
- ・CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、90.8で同0.2ポイント下降し、3か月ぶりの下降となった。